

ジョブズコミュニティレポート 2023年10月号

アルバイト・パート募集時賃金

「もともと最低賃金額以上だがさらに引き上げた」が約2割

Q 2023年度最低賃金改定を受けて、アルバイト・パートの募集時賃金をどの程度引き上げましたか（予定含む）（%）

	最低賃金額と同額に引き上げた	最低賃金額以上に引き上げた	もともと最低賃金額以上のため引き上げない	もともと最低賃金額以上だがさらに引き上げた
全体 n=827	41.8	28.8	12.0	17.4

▼業種別

医療・福祉関連業 n=83	31.3	31.3	9.6	27.7
運輸業 n=35	40.0	25.7	17.1	17.1
製造業・建設業 n=93	40.9	28.0	11.8	19.4
飲食業 n=173	41.0	31.2	9.8	17.9
サービス業 n=158	43.7	29.1	13.3	13.9
小売業 n=111	57.7	24.3	6.3	11.7
人材サービス業 n=27*	63.0	14.8	14.8	7.4
その他 n=147	32.0	31.3	17.0	19.7

*回答数nが30未満の場合は参考値として掲載

2023年度の地域別最低賃金は全国加重平均で初の1,000円台となる1,004円、前年度からの引き上げ幅は過去最大の43円となりました。最低賃金の改定を受けて、アルバイト・パートの募集時賃金をどの程度引き上げたか、経営者や人事担当者に伺いました。

- 全体では、「最低賃金額と同額に引き上げた」が41.8%と最も多いものの、「もともと最低賃金額以上だがさらに引き上げた」と回答した企業も17.4%と約2割存在しています。
- 業種別では、「医療・福祉関連業」で「もともと最低賃金額以上だがさらに引き上げた」が27.7%で約3割と他業種と比較して多く、一方で、「小売業」では同選択肢の回答は約1割と少ない結果になりました。地域別では回答に大きな差は見られませんでした。

引き上げ幅が過去最大であったため、募集時賃金の改定を意識した企業も多かったことでしょう。「最低賃金額以上だがさらに引き上げた」が2割も存在している背景には、新規募集の競争力維持や既存スタッフの定着のため等、人材不足対応として賃金の引き上げに取り組む企業の様子が見えがえます。

【参考】[採用担当者意識調査レポート](#) アルバイト・パートの基本給の引き上げを行った理由（複数回答）

- 1位：既存スタッフの定着、モチベーションアップのため 46.4%
- 2位：新規スタッフ採用のため 40.5%
- 3位：最低賃金改正への対応のため 31.0%

- アンケート実施期間：2023年9月22日(金)～9月28日(木)
- 有効回答数：827人
- 対象：全国の人材インフォメールマガジン会員（主な会員は経営者、人事担当者）

- 本レポートに関するお問い合わせ先 jbrc@r.recruit.co.jp
- その他のアンケート結果はこちら https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html

※レポート内の数値は、集計結果の小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります